



# 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 エブレン株式会社  
 コード番号 6599 URL <https://ebrain.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 上村 正人  
 (氏名) 田中 猛  
 TEL 042-646-7171

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,152	5.9	480	13.3	475	13.3	311	12.3
2022年3月期第3四半期	2,975	24.8	424	96.8	420	92.4	277	85.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 340百万円 (16.0%) 2022年3月期第3四半期 293百万円 (95.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	206.32	
2022年3月期第3四半期	183.71	

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,582	4,098	73.4
2022年3月期	5,184	3,791	73.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 4,098百万円 2022年3月期 3,791百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		22.00	22.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,320	10.1	650	20.9	650	22.7	430	24.5	284.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	1,536,000 株	2022年3月期	1,536,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	27,026 株	2022年3月期	27,026 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	1,508,974 株	2022年3月期3Q	1,508,974 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、全般に景気は回復傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大や、中国のロックダウンによるサプライチェーンの混乱、ウクライナ情勢の長期化による原材料やエネルギー価格の上昇、急激な円安の進行等により、先行きに対する不透明感は強まっております。

我が国経済も、急激な円安の進行による物価上昇が個人消費や企業活動に影響を及ぼし、新型コロナウイルス感染症の再拡大も懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響は一部ありましたが、ウクライナ問題の影響はなく、計測・制御分野が好調なため、売上高が増加しました。

また、部品入手難による影響は顧客との連携を強化し、生産情報を早期に入手して先行手配していたため、大きな影響は出ておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高3,152百万円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益480百万円（前年同四半期比13.3%増）、経常利益475百万円（前年同四半期比13.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は311百万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

当社グループは、産業用電子機器及び工業用コンピュータの設計・製造・販売を行っているものであり、セグメントは単一であります。したがって、セグメントごとに経営成績の状況は開示しておりませんが、営業品目の応用分野別売上の概況は、次のとおりであります。

#### 通信・放送 [通信・放送・電力関連]

通信・電力関連は堅調に推移しましたが、放送関連の一部顧客での半導体の入手難により、前期から今期に納入が後ろ倒しとなった製品がありました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比10百万円（5.8%）増の185百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の5.9%から変更ありません。

#### 電子応用 [HPC(スーパーコンピュータ)・医療関連]

新型コロナウイルス感染症による中国のロックダウンにより、医療関連装置が第1四半期に影響を受けましたが、第2四半期に復調したため、大きな影響になりませんでした。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比23百万円（7.7%）増の327百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の10.2%から10.4%となりました。

#### 計測・制御 [半導体製造装置・検査装置・FA関連]

世界の半導体市場は、データセンター向け製品や5G関連が下降傾向となり、NAND型フラッシュメモリやDRAMの供給過多の影響によりメモリ向け半導体製造装置の設備投資が縮小されました。また、中国への輸出規制等により一部顧客で半導体製造装置の生産調整がありました。一方、ロジック向け半導体製造装置への設備投資は、世界的な半導体の供給不足を背景に大手半導体メーカーやファウンドリ（半導体受託生産会社）が大幅な増産体制を構築するため、継続して増加しました。当社グループもその影響により、売上高が増加しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比225百万円（11.7%）増の2,152百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の64.8%から68.3%となりました。

#### 交通関連 [鉄道・信号・ITS（高度道路交通システム、ETC等）関連]

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、移動制限の影響で業績が悪化した鉄道会社の設備投資の延期や、海外向け鉄道関連の入札延期、設置工事の遅延がありました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比119百万円（26.6%）減の329百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の15.1%から10.5%となりました。

#### 防衛・その他 [防衛用のレーダー、通信関連]

部品の入手遅れで前期から今期へ納入が後ろ倒しとなった製品がありました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比36百万円（30.0%）増の156百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の4.0%から5.0%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ397百万円増加し、5,582百万円となりました。各区分の主な増減要因は以下のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて418百万円増加し、4,325百万円となりました。増加要因としては、原材料及び貯蔵品386百万円、受取手形及び売掛金71百万円、仕掛品63百万円、電子記録債権31百万円の増加であります。減少要因としては、現金及び預金107百万円の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて20百万円減少し、1,256百万円となりました。減少要因としては、繰延税金資産15百万円、保険積立金4百万円の減少であります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて76百万円増加し、1,095百万円となりました。増加要因としては支払手形及び買掛金174百万円の増加であります。減少要因としては、未払法人税等90百万円、賞与引当金36百万円の減少であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13百万円増加し、387百万円となりました。増加要因としては、役員退職慰労引当金7百万円、その他（長期未払費用）6百万円の増加であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて307百万円増加し、4,098百万円となりました。増加要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益311百万円であります。減少要因としては、配当金33百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3%増加し、73.4%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の予想につきましては、おおむね計画どおりに推移しており、現時点では、2022年5月12日付「2022年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました数値からの変更はございません。

今後、当社グループの業績に重大な影響を及ぼす事象が確認された場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,749,139	1,642,043
受取手形及び売掛金	817,553	889,312
電子記録債権	226,673	258,502
商品及び製品	131,428	115,014
仕掛品	248,872	312,308
原材料及び貯蔵品	675,186	1,062,135
その他	58,284	46,150
流動資産合計	3,907,139	4,325,468
固定資産		
有形固定資産		
土地	711,239	711,239
その他(純額)	177,472	176,695
有形固定資産合計	888,711	887,934
無形固定資産	4,855	3,852
投資その他の資産	383,846	364,986
固定資産合計	1,277,413	1,256,773
資産合計	5,184,553	5,582,241

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	705,208	879,349
短期借入金	18,000	31,000
1年内返済予定の長期借入金	10,019	—
未払法人税等	147,594	56,960
賞与引当金	57,120	21,046
受注損失引当金	1,441	3,115
その他	79,494	104,236
流動負債合計	1,018,878	1,095,709
固定負債		
役員退職慰労引当金	204,714	211,832
退職給付に係る負債	169,312	169,555
その他	—	6,444
固定負債合計	374,027	387,832
負債合計	1,392,906	1,483,541
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	143,010	143,010
資本剰余金	136,999	136,999
利益剰余金	3,489,042	3,767,173
自己株式	△25,981	△25,981
株主資本合計	3,743,071	4,021,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,926	2,746
為替換算調整勘定	45,650	74,751
その他の包括利益累計額合計	48,576	77,498
純資産合計	3,791,647	4,098,700
負債純資産合計	5,184,553	5,582,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	2,975,942	3,152,141
売上原価	2,260,750	2,376,921
売上総利益	715,192	775,220
販売費及び一般管理費	290,807	294,382
営業利益	424,385	480,838
営業外収益		
受取利息	74	227
受取配当金	500	37
保険解約返戻金	4,047	1,201
助成金収入	101	351
その他	662	587
営業外収益合計	5,386	2,406
営業外費用		
支払利息	252	75
為替差損	9,380	7,226
その他	—	80
営業外費用合計	9,632	7,382
経常利益	420,138	475,862
特別損失		
固定資産除却損	98	—
特別損失合計	98	—
税金等調整前四半期純利益	420,039	475,862
法人税、住民税及び事業税	134,792	148,738
法人税等調整額	8,039	15,795
法人税等合計	142,831	164,533
四半期純利益	277,208	311,328
親会社株主に帰属する四半期純利益	277,208	311,328

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	277,208	311,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131	△179
為替換算調整勘定	16,253	29,101
その他の包括利益合計	16,122	28,921
四半期包括利益	293,331	340,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,331	340,250

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。